

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 「手間を掛ける」とは「気を込める」こと (その2) 唐池 恒二 (JR九州会長)

1. 手間を掛けるとは、言い換えれば「気を込める」ということだと思っています。また、気とはエネルギーとも言えます。ななつ星は車両のサービスにも料理にも、気がエネルギーがものすごく詰まっているのです。目には見えませんが、それがお客様に伝わり、感動というエネルギーへと変わるのでしょう。
2. 3泊4日の旅の最後にバーラウンジにすべての乗客の皆様が集まってもらい、フェアウェルパーティを開きます。ここではほぼ全員の乗客の方が感動と喜びで泣かれるんです。クルーの手を握りながら「いい旅だった」と。同時に、クルーも毎回乗っているにもかかわらず、一緒に泣いてしまいます。クルーは何度も乗っていたとしてもお客様はそうではありません。人生でたった一度の旅という場合もあります。ですから、クルーは常に「一期一会」の心構えでお客様に接しています。それで毎回、感極まって泣いてしまうのです。
3. ななつ星で目指したのは、「世界一の豪華寝台列車をつくる」ということでした。トップが夢を語り、それを全員で共有する。「夢見る力」で目標へと向かうことで、気というエネルギーが湧き上がってくるのです。

(参考:「日経ビジネス」2015年9月28日号)

## 経営者のための理念・哲学

### 優れた人間性が人を導く

#### 牛尾 治朗 (ウシオ電機会長)

1. ノーベル賞を受賞された大村智氏は、記者会見で、自身のこれからの最大の仕事は人間を教育することだとおっしゃっていました。会見を拝聴する若い学生や研究者たちが実にいい顔をしているのを見て、大村氏は既にたくさんの人を育てていると私は思いました。
2. 「論語」に次の言葉があります。「其の身正しければ令せずに行われ、其の身正しからざれば令すと雖も従わず」。(上にある者が正しければ、命令しなくともよく行われ、正しくなければ、どんなに厳しい命令を下しても、民はついてくるものではない)。大村氏の優れた人間性に基づく業績は、多くの人を感化し、よい方向に導いているに違いありません。氏の生き方は、リーダーが学ぶべき教訓に満ちています。

(参考:「致知」2015年12月号)

## ワンポイント経営アドバイス

### 海外進出はまだ厳しい

#### 徳力 しげる (ダイヤモンド経営者倶楽部運営代表)

1. 「私は中小企業の経営者の方々と毎日のように会っているのですが、今年の前半あたりから、言いは悪いのですが、皆さん羽振りがいい。実質的にお金が動いているのだと実感しています。ただし、皆さん楽観的で、中長期的な見方をされていないのが気になります。
2. 大切なのはスピードだと思います。フットワークの軽い中小企業だからこそ、世の中のさまざまな課題に対して迅速に提案していける。今はチャンスがたくさんあると思います。利用者側との利害関係が一致すると、スピードのある変革やイノベーションが可能になる時代だと思います。今、中小企業でも市場がグローバル化しています。海外に進出したいという経営者は多いのですが、実情はまだ厳しい。チャレンジはするけれど、日本でのもうけを海外で使ってしまうというケースが多い。意外とカントリーリスクを考えていない人が多いような気がします。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2015年10月3日号)

## 古典に学ぶ

### 上杉鷹山 (1751年~1822年) の経営改革 (その2)

(解説) 鷹山はどのようにして再建を進めたのであろうか。その第一が儉約である。まず藩主自身の生活費、今でいえば社長の月給のようなものであるが、およそ年俸 1500 両あったのを 209 両に減らしてしまう。自ら七分の一に減俸した。同時に 54 人いた奥女中を 9 人に減らす。不要不急の人員を減らした。

(参考:山本七平「指導者の帝王学」): PHP